

# ブラジルと日本

鹿島アントラーズにおける「神様」ジーコの功績

マルセロ・ダ・クルス・ナシメント  
群馬大学  
社会情報学部

## インデックス

1.	ジーコ.....	3
2.	鹿島アントラーズという日本のクラブチーム.....	5
3.	鹿島アントラーズでジーコがもたらす影響.....	7
3.1	ブラジルにおける日本サッカーの普及.....	7
3.2	ファミリアアントラーズ.....	9
3.2	ジーコスピリッツ.....	9
4.	アントラーズとブラジルサッカー.....	11
5.	まとめ.....	15
6.	参考文献.....	16

## はじめに

2002 年は日本サッカーの歴史にとって非常に重要な年になった。この年に日韓共催サッカーワールドカップが行われた。それで、日本は国内でしていたサッカーを外国に紹介する機会を得ることが出来た。しかしその 9 年前には、日本サッカーの歴史にほかの特別な出来事もあった。1993 年という年は J リーグの開幕した年だった。

この時、日本のサッカークラブチームの創設と職業化が始まった。それでそれぞれのクラブチームが外国と同じようにプロサッカーをするためにいろいろな国からプロサッカー選手を連れてきた。外国から来たプロサッカー選手は日本サッカーを発展させるためにいろいろな影響をもたらしたと言える。この外国のサッカー選手の中に日本で人気になったジーコというブラジル人サッカー選手がいた。ジーコは鹿島アントラーズというクラブチームの歴史の中で重要なサッカー選手の一人である。

2015 年にはブラジルと日本の友好関係がむすばれて 120 年がたつ。ブラジルサッカーにとっても日本サッカーにとっても重要なサッカー選手なので、(ブラジルと日本のサッカー関係に重要な人になったので、) 日伯友好 120 年を祝ってジーコが友好新善大使として選ばれた。けれども、ジーコと日本サッカーはどれほど関係があるか？ジーコがどれほどもたらす影響があったか？鹿島アントラーズのサッカー選手としてどれほど大切なことをやったか？

鹿島アントラーズにおいてジーコが日本サッカーに影響を与えたことについて三つの大事な影響を選んだ。一つ目はブラジルで日本サッカーの普及をしたということである。次に二つ目はファミリアアントラーズということである。こちらはサッカー選手とサポーターが家族と同じような関係をもつことである。

このおかげで、鹿島アントラーズの選手とサポーターたちはもっと近い関係になった。そして、三つ目はジーコスピリッツという哲学である。こちらは鹿島アントラーズの哲学で、今も残っている。

この 3 つが日本サッカーに鹿島アントラーズでジーコがもたらした影響である。そして、これらについてこの論文の中でもっと詳しく説明をする。

## 1. ジーコ

まず、ジーコの大切さを説明するためにサッカー選手としてのジーコのストーリーの説明が必要である。ジーコはリオ・デ・ジャネイロに 1953 年 3 月 3 日に生まれた。実はジーコという名前はニックネームである。本名はアルトゥール・アントゥネス・コインブラ (Arthur Antunes Coimbra) である。

ジーコはサッカーの特別な技術を子供の頃から持っていた。ほかの子供たちと比べて上手にサッカーをやっていた。ジーコが 13 歳の時、セウソ・ガルシアというラジオジャーナリストはジーコのサッカーの試合を見て喜んだ。ジーコが上手なサッカー選手になる可能性があることを理解してフラメンゴという有名なブラジルクラブチームにサッカーのテストを受けに連れて行った。

けれども、ジーコは背が低くて、力はあまり強くないので、フラメンゴが心配した。しかし幸運にもジーコは、フラメンゴに入団することができた。そして、いい選手になるか分からなく、信頼ができなかったが、フラメンゴでジーコはよく頑張っていて、体が強くなって、1971 年に初めてプロサッカー選手として出た試合でゴールを決めた。その時から、特別なサッカー選手になる可能性があることを表した。

ジーコはフラメンゴでサッカーをやっていた時、色々な大会で優勝した。優

勝った大会の中でフラメンゴの歴史に一番大事なタイトルは、1981年コパ・リベルタドレスという南米のサッカー大会と、日本で行われた1981年のクラブワールドカップという大会である。しかし、ブラジル代表に参加した時、それほど簡単ではなかったと言われている。

1976年に1978年のワールドカップの準備のための試合でジーコはブラジル代表のデビューをした。しかし、いくつかの怪我をしたのでブラジル代表のサッカー選手としての効率はあまり良くなかった。けれども、色々な障害があったから、1982年スペインワールドカップでブラジル代表の選手として自分の技術やブラジル代表でも成功できるサッカー選手になることなどを表すための機会があった。このワールドカップで良質なサッカーをしていたブラジル代表が色々な大切な試合に勝った。特に、マラドーナのいるアルゼンチン代表との試合に勝った。そして、この素晴らしいブラジル代表のサッカー選手の中でジーコが一番大事なプレイヤーと言われていた。しかし、ブラジル代表がフランスと戦った試合で負けた。結果は3-2だった。

1983年に30歳のジーコはウディネーゼというイタリアのクラブチームに移籍して、そこで2年間サッカーをやって、またブラジルのフラメンゴに戻った。

1986年にまたブラジル代表のサッカー選手として、ジーコがワールドカップに参加できた。しかし、大きな怪我のせいでワールドカップの試合でベンチだったが、けがをしても、またフランスと戦う試合でサッカーが上手なジーコはPK (penalty kick) でまだブラジル代表の大事なサッカー選手であることを示す機会があった。だが、ジーコがこのPKを失敗して、ブラジル代表はこの試合に負けた。この失敗のせいでジーコが批判された。

ジーコは1989までサッカーを続けて、引退した。けれども、住友金属蹴球同好会が日本でサッカーをするためにジーコを誘った。この時、日本のサッカー

はプロリーグを作る目的があったので、参加するチームが準備していた。それぞれのクラブチームはプロサッカーの考え方を伝えるために外国のプロサッカー選手を連れてきた。ジーコの場合は、住友金属蹴球同好会の計画に信頼して、日本に来て 38 歳のジーコがまたサッカーを続けた。1 年後、住友金属蹴球同好会はプロチームになって、名前が鹿島アントラーズに変わった。

## 2. 鹿島アントラーズという日本クラブチーム

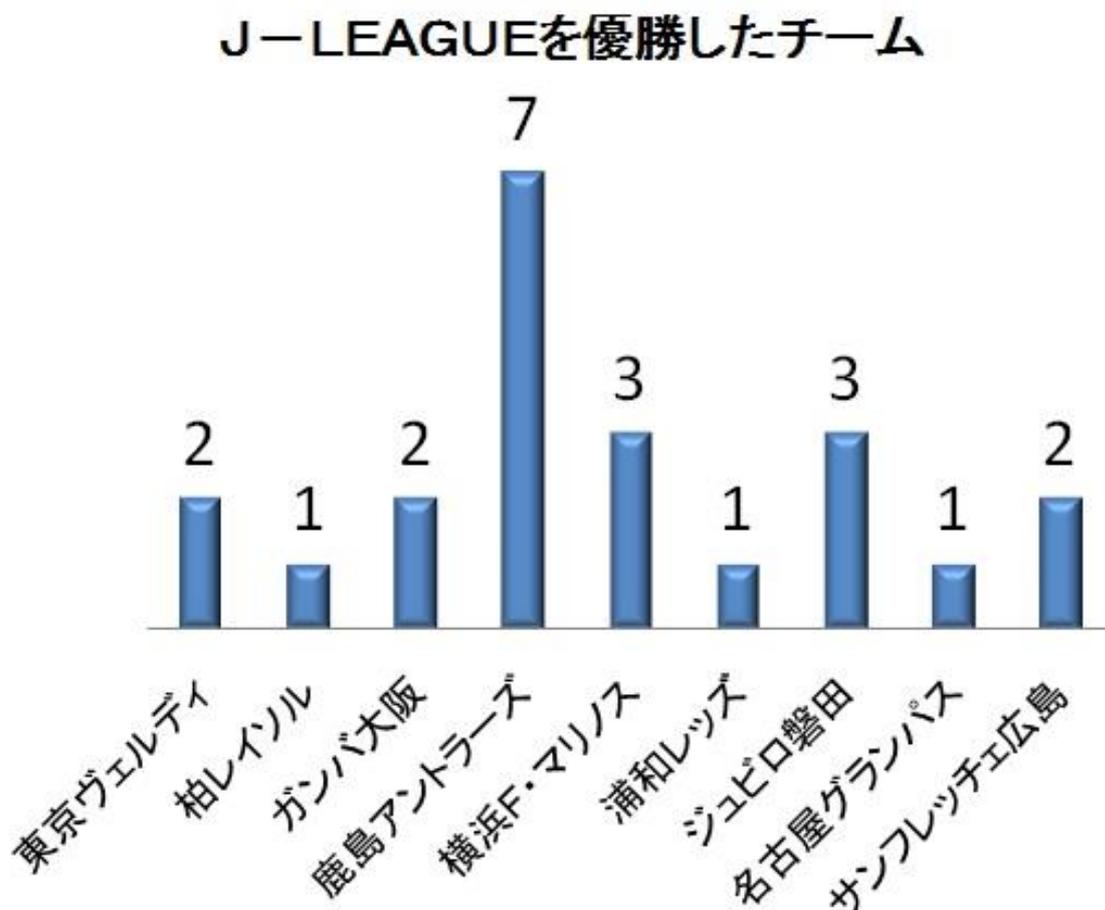
鹿島アントラーズの創設は 1947 年で、クラブチームの名前は住友金属蹴球同好会だった。その時、住友金属蹴球同好会は大阪にあって、1975 年に茨城県鹿島市に引っ越した。チームを創設した時は、J S L (Japan Soccer League) というアマチュアサッカーリーグに参加した。

1991 年に J リーグという初めの日本プロサッカーリーグに参加するために選ばれた。それで、このクラブチームは鹿島アントラーズの名前に変わって、強いチームを作るためにプロサッカー選手を連れてきた。この中でジーコは一番大事なプレイヤーとして鹿島に来て、アルシンドという他のブラジル人のサッカー選手や日本人サッカー選手と一緒にチームメイトになった。

ジーコはチームリーダーとして鹿島アントラーズが初めの J リーグの 1st ステージを優勝したが、決勝戦の試合でヴェルディ川崎（現在東京ヴェルディ）と戦って、負けた。J リーグの最初の時、アントラーズはいい結果が出たが、年間優勝することができなかった。けれども、1996 年に J リーグを優勝した。こちらは鹿島アントラーズの初めてのタイトルだった。

J リーグが開幕してから現在まで鹿島アントラーズは 7 回 J リーグで優勝したことがある。他の日本クラブチームと比較して、こちらはアントラーズの特

別な特徴になった。そちらについて次の図で表している。



グラフ 1 <sup>1</sup>

この図を見て、Jリーグにて鹿島アントラーズと他のチームと大きな違いがあると言える。そして、それだけではなく、2000年に鹿島アントラーズが同じ年の間で三つの大会を優勝した。それは日本サッカーの中ではじめてであった。また、2007年、2008年、2009年に連続でJリーグを優勝できた。それは今まで鹿島アントラーズしかできていないことである。

<sup>1</sup> 『サッカーダイジェスト 2015 J1&J2&J3 選手名鑑』 参照

### 3. 鹿島アントラーズでジーコがもたらす影響

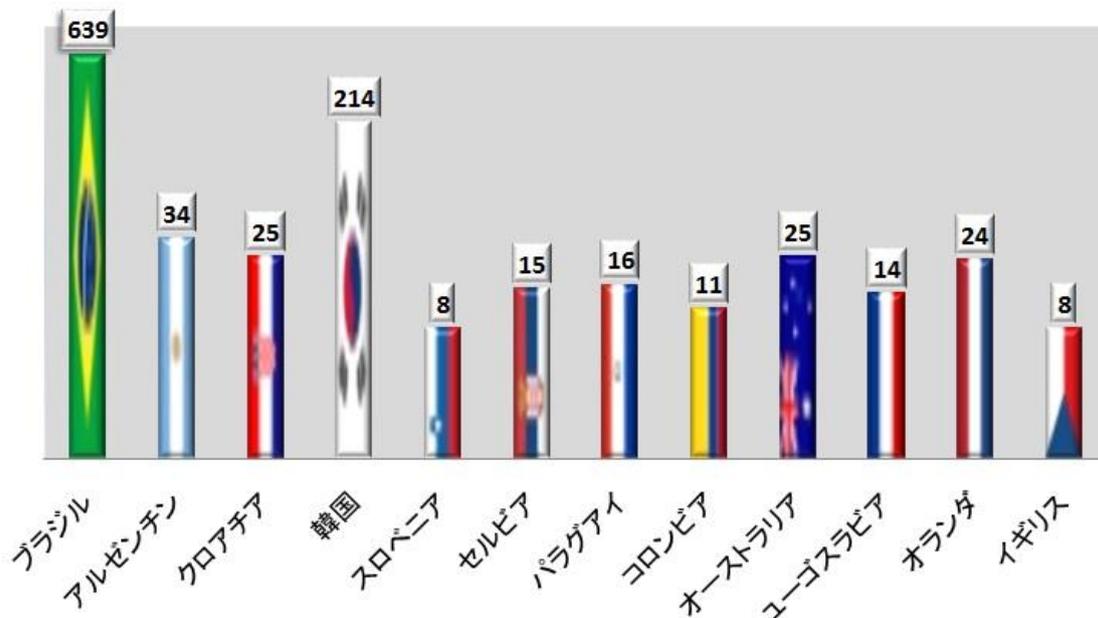
1991年、ジーコはJ1、すなわち日本プロサッカー1部リーグに選手として復帰した。ワールドカップでの豊富な経験を積んだ最年長の選手として、また世界的に名声を得た選手として、ジーコは他の選手にプロの選手としての考え方はどうあるべきかを示しただけでなく、日本のサッカーを世界に披露する役割まで果たした。それで、鹿島アントラーズのサッカー選手として、ジーコがもたらす影響があったと言える。それについて今から説明する。

#### 3. 1. ブラジルにおける日本サッカーの普及

ジーコは日本に来てから、またサッカーをやり始め、ブラジルのTV Culturaというブラジルの一つのテレビ番組はJリーグの鹿島アントラーズの試合を放送し、ブラジル人達がジーコの試合を見る機会がまたあったので、日本のプロサッカーリーグと鹿島アントラーズはブラジルの中で人気になったと言える。

ブラジルで日本のプロサッカーは人気が出て、他のブラジル人サッカー選手も日本のサッカーをもっと信頼し、自分のキャリアのためにいいことになる可能性があるとして理解した。したがって、多くのブラジル人サッカー選手は日本へサッカーをしに来た。次のグラフはJリーグが開幕してから現在まで日本に来た外国のサッカー選手の人数を示す。

## 外国から来たサッカー選手 1992年～2015年



グラフ 2 <sup>2</sup>

こちらのグラフを見て、他の国から来たサッカー選手と比較したら、ブラジル人が一番多いことが理解できる。その時、ブラジルでやっていたサッカーは世界中で人気が出て、日本のクラブチームはブラジルのサッカーに興味があった。なぜかというとなら、ブラジル代表は歴史的に強くて、ブラジルは「サッカーの国だ」と言われていたからだ。そして、ジーコが日本にきてからブラジル人達は日本のサッカーに興味をもち始めた。それで、Jリーグでブラジル人サッカー選手の人数がそれほど多いのはジーコの一つの影響である。

<sup>2</sup> 『Wikipedia Jリーグの外国籍選手一覧』参照

### 3. 2. ファミリアアントラーズ

ジーコが与えた影響の一つに、「ファミリアアントラーズ」の創成がある。「ファミリアアントラーズ」とは一体何か？

「ファミリア」とは、ポルトガル語で「家族」を意味する言葉であり、したがって、鹿島アントラーズに所属する選手のみならず、すべての社員、そしてサポーターが一つになって「鹿島アントラーズ」という「家族」を形成する、という理念である。サポーターの応援なしではチームはこれほど強くはなれず、一つの「家族」として、互いの支えが必要である、という考えによるものであったが、これによって、選手とサポーターとの距離はぐんと縮まったのである。

### 3. 3. ジーコスピリッツ

鹿島アントラーズにジーコがもたらす他の影響はジーコスピリッツということである。ジーコスピリッツとは何か？こちらはジーコの伝えたプロサッカーの考え方ということである。そして、この概念は鹿島アントラーズの哲学になり、現在まで使われている。

ジーコスピリッツは主に3つのポルトガル語の言葉によって構成されている。「TRABALHO」「LEALDADE」「RESPEITO」＝ESPIRITOである。日本語で訳すと、「献身」「誠実」「尊重」＝スピリッツである。

下記の図で表されているように、この3つの言葉を合わせると「何があっても、最後まで諦めないということ」である。ジーコスピリッツを具現化した良い例が、鹿島アントラーズのユニフォームに表れている。

## ジーコスピリッツ



図 1<sup>3</sup>

上記の図のように鹿島アントラーズのユニフォームには、ジーコスピリッツの3つの言葉がポルトガル語で刻まれている。加えて、その3つの言葉はクラブのエンブレムの丁度裏側に位置しており、つまりそれは選手たちのハートに最も近いところに刻まれている。下記の図はクラブのエンブレムの丁度裏の図である。

<sup>3</sup> 『Sports Graphic Number Web 鹿島アントラーズ 「揺るぎなき常勝戦略」 J史上初3連覇のフロント力』参照

## ユニホームのエンブレムの丁度裏



図 2<sup>4</sup>

### 4. アントラーズとブラジルサッカー

先ほど、説明したことと同じで、ブラジル人サッカー選手は日本におけるサッカーをもっと信頼したことで、日本でブラジル人サッカー選手が増えてきた。けれども、選手だけではなく、ブラジル人監督も日本に来た。サッカー選手と同じように、ブラジル人監督が日本に行くことに自信を得た。特に鹿島アントラーズは色々なブラジル人監督を誘った。次の図は鹿島アントラーズに加入した監督の人数を表している。

---

<sup>4</sup> 『Naver Matome 【サッカー】鹿島アントラーズ歴代ユニフォーム まとめ ※1991～2015年 #antlers』参照

## 鹿島アントラーズ歴代監督

 宮本征勝	1992年 - 1994年6月
 エドゥー	1994年6月 - 1995年
 ジョアン・カルロス	1996年 - 1998年7月
 関塚隆	1998年7月、1999年8月
 ゼ・マリオ	1998年8月 - 1999年8月
 ジーコ	1999年8月 - 12月
 トニーニョ・セレーソ	2000年 - 2005年、2013年 - 2015年7月
 パウロ・アウトウオリ	2006年
 オズワルド・オリヴェイラ	2007年 - 2011年
 ジョルジーニョ	2012年
 石井正忠	2015年7月 -

グラフ 3 <sup>5</sup>

1992年から現在まででブラジル人以外の監督は3人しかいない。この図を見ても鹿島アントラーズにとってブラジル人監督がどれほど大事かわかる。ブラジル人監督の中でジーコもアントラーズで監督として働いていた。

鹿島アントラーズに所属していた外国人選手に関して、その人数がクラブにおける重要性を如実に示している。というのは、下記のデータが示している。

<sup>5</sup> 『Wikipedia Kashima Antlers』参照

## 外国から鹿島アントラーズに来たサッカー選手

ブラジル	48 人
韓国	3 人

グラフ 4 <sup>6</sup>

この資料から、鹿島アントラーズとブラジルサッカーの強い関係性が読み取れる。雑誌「Love Sports Web Sportiva」に掲載された記事によると、

「歴代の監督はブラジル人ばかりで、外国人選手もブラジル人がほとんどである。基本となるフォーメーションはブラジル代表の4-4-2に近い。昨シーズン、オリヴェイラ監督が採用していた基本フォーメーションは同じくブラジル人である柏のネルシーニョ監督が採用している形とほぼ同じである。

何よりも、クラブの象徴として、そしてプロ選手の模範としての「ジーコ」という存在が大きい。その基本にあるのは結果を残すこと、そして勝つことへの執着だ。それが今も脈々と受け継がれ、クラブの哲学として生きている。」<sup>7</sup>

<sup>6</sup> 『Wikipedia Jリーグの外国籍選手一覧』 参照

<sup>7</sup> 『Love Sports web sportive 【Jリーグ】20年間ブレはなし。ブラジルのスタイルと「ジーコの哲学」を貫く鹿島』 参照

この記事から、ブラジル人選手が鹿島にとっていかに重宝されていたかが分かる。戦術やプレースタイルと同等に、ジーコが導入したブラジルサッカーの精神が生かされてきたのである。そして、このジーコスピリッツはいまもなおクラブにおいて絶やされることはない。

皆が、ジーコが鹿島アントラーズと日本のサッカーのためにしてきたことに対して、感謝の気持ちを示している。そして、アントラーズのスタジアムの前にジーコの銅像を建てた。これがその写真である。

## 鹿島スタジアムの前に作られたジーコの象



図 2<sup>8</sup>

彼のフィールドでのプレースタイルや賢さから、神様と認識されるようになった。鹿島アントラーズでの彼の重要性についての、前鹿島アントラーズ監督

---

<sup>8</sup> 『Lance!Net Zico tem estátua e faz até idioma português ser conhecido em Kashima』 参照

のオスワルド オリヴェイラのコメントが以下に載っている。

「ジーコは鹿島アントラーズがまだ新しく、アマチュアの時からチームの創設に携わった。彼に対する概念は、魅力的でそして今日まで、全ての試合でサポーターがジーコと書かれた横断幕を持ってきている。アントラーズは工場のチームからジーコがより大きなチームに変えて、彼らに歴史と伝統をもたらした。」<sup>9</sup>

## 5. まとめ

ブラジルサッカーは日本サッカーがプロリーグ化して以降、ずっと関わりをもち続けているばかりか、その技術や特性はいまなおJリーグで生かされている。ブラジルサッカーと日本サッカーの両者における関係がどれほど深いものであるかは、ここで述べてきたが、それらはすべて日本サッカーの将来性を信じたジーコがもたらしたものであるといっても過言ではない。

さらに、彼は日本サッカー界、とりわけ鹿島アントラーズに多大な貢献—ブラジルにおける日本サッカーの普及、ファミリアアントラーズ、そしてジーコスピリッツの構築—をしたと言える。ジーコは優れたチームの一つとして、国内のみならず世界、とりわけブラジルにおいて鹿島アントラーズを世に知らしめる大きな役割を果たしたのである。

---

<sup>9</sup> 『ウン・ノーヴォ・ガリーニョ, トリヴェーラ第 26 号』参照

## 6. 参考文献

<http://sportiva.shueisha.co.jp/clm/jfootball/2012/03/17/20/index.php>『Love Sports web sportive 【Jリーグ】20年間ブレはなし。ブラジルのスタイルと「ジーコの哲学」を貫く鹿島』(閲覧日 2015年9月10日)

『サッカーダイジェスト 2015 J1&J2&J3 選手名鑑』日本企画スポーツ出版社  
P. 08, 16, 24, 32, 56, 64, 80, 170, 230

<https://ja.wikipedia.org/wiki/J%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B0%E3%81%AE%E5%A4%96%E5%9B%BD%E7%B1%8D%E9%81%B8%E6%89%8B%E4%B8%80%E8%A6%A7>『wikipedia Jリーグの外国籍選手一覧』(閲覧日 2015年7月15日)

[http://www.lancenet.com.br/minuto/Zico-estatua-portugues-conhecido-Kashima\\_0\\_969503045.html#](http://www.lancenet.com.br/minuto/Zico-estatua-portugues-conhecido-Kashima_0_969503045.html#)『Lance!Net Zico tem estátua e faz até idioma português ser conhecido em Kashima』(閲覧日 2015年9月10日)

<https://pt.wikipedia.org/wiki/Zico> 『Wikipedia Zico』(閲覧日 2015年9月8日)

<http://www.nippon.com/ja/features/h00051/>『Nippon.com 日本サッカー発展に貢献したブラジル人』(閲覧日 2015年8月1日)

[https://pt.wikipedia.org/wiki/Kashima\\_Antlers](https://pt.wikipedia.org/wiki/Kashima_Antlers) 『Wikipedia Kashima Antlers』(閲

覧日 2015 年 7 月 29 日)

<http://matome.naver.jp/odai/2139176048460630801?&page=7> 『Naver Matome  
【サッカー】鹿島アントラーズ歴代ユニフォーム まとめ ※1991～2015 年  
#antlers』(閲覧日 2015 年 8 月 1 日)

<http://number.bunshun.jp/articles/-/12269> 『Sports Graphic Number Web 鹿島  
アントラーズ 「揺るぎなき常勝戦略」 J 史上初 3 連覇のフロント力』(閲覧日  
2015 年 9 月 1 日)

<http://www.so-net.ne.jp/antlers/en/club/> 『Kashima Antlers official website Club  
Profile』(閲覧日 2015 年 7 月 30 日)

ダスラー・マルケス(2008) 『ウン・ノーヴォ・ガリーニョ, トリヴェーラ第 26 号』  
2008 年 4 月号,pp.20-22,トリヴェーラ・コムニカソンイス社